

## 令和6年度第1回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和6年5月18日（土） 午前9時30分～午前11時36分	
開催場所	山城支所別館 ホール	
担当議員	班代表者	山本 和延
	司会者	柴田 はすみ
	報告者	谷口 英子
	記録者	福井 平和・山崎 光祐
	班員 (上記以外)	堤 征一郎
参加人数	19人	
主な質疑・意見等	<p>Q議：中部消防組合の新庁舎建設にあたっての議員の発言が、事実に基づかないものであったことに対しての議会の姿勢はいかがなものか。</p> <p>A：議会としては、この件について他の議員とも相談したい。また、当該議員の会派としては、各議員が各自の責任で発言していることでもあるので、各人が責任を持って対処する。</p>	
	<p>Q議：消防署木津西出張所廃止に関する請願は、組合に提出すべきものと言われ、議会はこの問題を他人事のように捉えていると感じた。</p> <p>A：組合議会が存在し、そこで議論や議決が行われたことの重みを理解していただきたい。</p>	
	<p>Q議：相楽中部消防組合消防本部が地元に配付した説明会開催通知では、木津西出張所廃止の説明がある事は全く分からない。説明会の開催権限は、木津川市長でもある組合管理者にあり、速やかに説明会を開催すべきである。</p> <p>A：地方自治法で定められた請願採択後の手続きは、市議会として対応すべきものと考えている。もちろん、市長は組合管理者であるが、説明会開催の可否はあくまで組合で判断されることである。</p>	
	<p>Q行：木津西出張所廃止の理由として、消防車と救急車の同時出動ができない旨の説明があったが、人員を増やせば解決する事である。奈良市と共同運用するはしご車については、署員が奈良市まで取りに行かなくてはならない。このような体制でしっかりと運用できるのか。運用に課題があるものにお金をかけるくらいならば増員るべきでは。</p> <p>A：組合議会が存在し、そこで議論や議決が行われている。市議会として決めることができないことをご理解いただきたい。</p>	
	Q行：山城町の防災行政無線戸別受信器の廃止をどう考えているのか。屋	

主な質疑 ・意見等	<p>外拡声器だけでは高齢者避難発令時、音声が聞き取りにくい。電話にも出ないので、役員が地域を回っているのが実情。戸別受信器の継続、又は代替対応を考えるべきである。</p> <p>A：今年11月末でアナログ方式の無線が停波となることから、従来の戸別受信器は廃止となる。その後のことは代替案や予算も含め、まだ何も決まっていない。地元住民の懸案事項として受け止め、政策として提案していきたい。</p> <p>Q行：山城町の北部では棚倉小学校が指定避難所となっているが、低地に立地しており、水害時には危険である。5年10年かかっても、安全な避難所を確保して欲しい。</p> <p>A：ハード整備では、城陽井手木津川バイパスの早期完成。ソフト面では、消防署や消防団の活動、避難所の充実、社協の広域連携など、議会としても行政に伝える。</p> <p>Q行：導入されるトイレカーは高額であるが、どのように運用するのか。たった1台では賄えないのでは。</p> <p>A：平常時は、訓練やイベント開催時に活用する。災害時には被災自治体へ派遣し、逆に、当市が被災した時には他自治体から複数台の支援を受けるなどの運用を考えている。適切に運用されるようしっかりと見ていく。</p> <p>Q議：南加茂台自治会では、路線バス問題のワーキンググループを設置し、先日は地元議員の方々にも参加いただいた。公共交通である路線バスへの予算配分が少な過ぎるのでは。地元では切実な問題であるので、6月議会で取り上げるなど議員には関心を持って取り組んで欲しい。</p> <p>A：この問題は加茂地域だけでなく、他地域でも同様である。各議員が一般質問で取り上げるなど、今日までの議会だよりも掲載させていただいている。</p> <p>Q議：過去の議会で、山城コミバスの新祝園駅延伸の請願が採択されているが、その後の進展は。</p> <p>A：進展はない。</p> <p>Q行：JR上狛駅構内の工事の地元説明会において、JR側の説明では、上屋根、椅子、トイレを撤去すると言っている。駅は人が集まるところであり、ますます高齢化になるのに今あるものを何故撤去するのか。</p> <p>A：この件に関しては持ち帰り、担当部署に意見を伝える。</p> <p>Q行：木津川市は人口が急増している地区と、過疎化している地区が混在している。それぞれに違う問題が存在すると思うが、例えば地域経済活性化のために地域通貨の導入などをすれば。</p> <p>A：地域通貨の先行事例があることは承知している。商工会と行政が連携して活性化につなげていきたい。</p>
--------------	---

	<p>Q行：井手町の多賀地区には今夏、商業施設がオープンする。山城地域の給食センター跡地が文化財の保管施設にする計画があるそうだが、例えばそこに商業施設を誘致することは考えられないのか。</p> <p>A：山城多賀地区の商業施設は付近に新名神のICができることもあり、行政が誘致したと聞いている。ご提案の給食センター跡地利用については、ご意見として受け止める。</p> <p>Q行：新旧住民の交流が少なく、古い新住民である私も交流が必要と考えている。また、子どもが減少し、御輿の担ぎ手が無くなっている。今後、ますます新住民と交流する施策が必要ではないか。</p> <p>A：各自治会の皆さんもご苦労、工夫してやられている。例えば、兜台地区では、とんど焼きを開催し、同時に防災の意味も含めて炊き出しを実施され好評のようである。また、行政では今年度より地域おこし協力隊事業が実施され、新旧住民の交流が図れることを期待している。</p> <p>Q行：山城町東部農免農道に不法投棄があった。森林公园からの帰路でバーベキューセットの不法投機、民家敷地内での車上荒しなど、治安が悪くなっている。神童子の入口は2か所しかないので、防犯カメラなどの対策を考えていただきたい。</p> <p>A：提案頂いたカメラの設置は効果的である。また、警察の防犯アプリの活用を周知するなど考えていきたい。</p> <p>Q行：過疎地域に指定された加茂地域だけではなく、山城地域でも過疎化が進んでおり、またイノシシなどの有害鳥獣被害が多発している。対策を進めて欲しい。</p> <p>A：担当課で補助金制度などを作り対応している。また取り組みを進めるようとする。</p> <p>Q議：3月議会において、副市長2人制についてのメリット・デメリットを説明して欲しい旨の請願が不採択となった理由は。</p> <p>A：副市長が2人体制となり、スピード感が上がり、諸行事への出席率も上がっている。また、稻垣副市長は総務省とのパイプがあるなど、副市長2人の役割分担もできている。</p> <p>Q議：自由討議の時に何も発言をしない議員が、採決に参加するのはいかがなものか。言論の府である議会議員が、自身の意見を述べない事は責任の放棄ではないか。</p> <p>A：自由討議とは言え、発言しない自由もあることをご理解いただきたい。</p>
質問・要望等 で行政側へ報告すべき内容	<p>○JR 上柏駅舎の改築等に関する工事は、駅利用者に寄り添った整備内容となっているのか。</p> <p>○旧山城学校給食センターの跡地に、商業施設を誘致することは出来ないのか。</p>

その他の 特記事項	山城町開橋から精華町祝園間のルート新設のコミバス請願が採択されているのに、未だ実現していない。この件は、過去の議会報告会において「調べておきます」と言いながら、何の回答も無い。おざなりになっているではないか。
--------------	--

上記のとおり、報告します。

令和6年6月27日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

令和6年度第1回議会報告会

第1班代表者 山本 和延